

# プ ル サ ー マ ル っ て な あ に ?

## ー女川原発でのプルトニウム発電を考える

先日、「女川原発プルサーマル導入 東北電力が宮城県へ近く申し入れ」との新聞報道がありました。が、「プルサーマルってなぁに?」と思った人も多いのではないのでしょうか。

ウランを燃やして発電する普通の原発に、設計当初想定していなかった、プルトニウムを混ぜた燃料を使うのがプルサーマルといわれています。プルトニウムは核兵器の原料になりうる危険な放射性物質ですが、これを燃料に使っても危険はないのでしょうか?

また、プルサーマルは、全国各地の原発から出る使用済核燃料からプルトニウムを取り出す青森県六ヶ所村の再処理工場の稼動と関係あるのでしょうか?

そのへんのところを、プルサーマルに関しては日本でも指折りの専門家である小林さんにじっくりとお聞きしたいと思います。

### ～ 石巻・仙台連続講演会 ～

**講師** 小林圭二さん (元京都大学原子炉実験所講師)



#### [ 石巻会場 ]

日時:2008年7月26日(土)13:30 開場 14:00 開会(～16:00 ころまで)  
会場:石巻文化センター 研修室(裏面に地図あり)  
お問い合わせ:tel 090-1103-1672 chikyutotomoni@yahoo.co.jp(武藤)

#### [ 仙台会場 ]

日時:2008年7月27日(日)13:30 開場 14:00 開会(～16:00 ころまで)  
会場:仙台弁護士会館(裏面に地図あり)  
お問い合わせ:tel/fax 022-373-7000 (篠原)naani2008@livedoor.com(布田)

\* 参加費:両会場とも 500円(前売り 400円)

主催:「プルサーマルってなぁに?」講演会実行委員会

呼びかけ人:篠原弘典(みやぎ脱原発・風の会)、吉武洋子(生活協同組合あいコープみやぎ)、日下郁郎(原子力発電を考える石巻市民の会)、広瀬剛史(陸・宮城の海を放射能から守る仙台的会 - わかめの会)、武藤北斗(NPO 地球とともに)、高橋英雄(石巻・高橋徳治商店 / 水産加工)、松澤賜明(弁護士)

## [ 講師紹介 ]

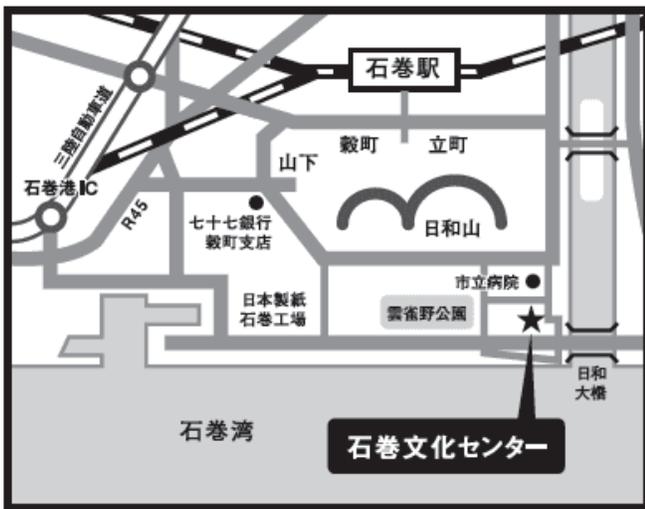


### 小林圭二さん

1939年中国大連生まれ、元京都大学原子炉実験所講師。  
70年代、伊方原発1号訴訟から原発に対する取り組みを始める。  
高速増殖炉もんじゅ訴訟では原告特別補佐人、証人。  
主な著書に『高速増殖炉もんじゅ』（1994 七つ森書館）、  
編著書に『プルトニウム発電の恐怖』（2006 創史社共同編集）など。

## [ 会場案内 ]

### 石巻会場



〒986-0835 石巻市南浜町一丁目7-30  
Tel 0225-94-2811

### 仙台会場



〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町二丁目9-18  
Tel 022-223-1001

日(土曜日) 河北新報

# 東北電力プルサーマル導入 実績なく先行き不透明

## 事前了解 国内4原発5基

使用済み核燃料から回収(巻市)での導入に動きが  
収まるプルニウムとした。しかし、東北の既  
ウランの混合酸化物(MOX)燃料を軽水炉で燃  
やすプルサーマルの実施 練もあり、東北電力の思  
に向け、東北電力が女川 感通りに進むかどうかは  
原発(宮城県女川町、石 不透明だ。

東北にある既設の原発  
は東北、東京両電力合  
せて十四基、女川2、3  
号機のいずれかと、東京  
電力福島第一原発3号機  
が今年操業すれば、年間  
約四、五兆の核分裂性プ  
ルトニウムが回収される。  
プルニウムは核兵器に  
も転用可能で、余分に抱

使用済み核燃料再処理  
工場(青森県六ヶ所村)  
が今年操業すれば、年間  
約四、五兆の核分裂性プ  
ルトニウムが回収される。  
プルニウムは核兵器に  
も転用可能で、余分に抱

え込めは国際社会で批判  
を浴びかねない。  
電気事業連合会はプル  
トニウムを確実に消費す  
るため二〇一〇年度まで  
に全国の十六、十八基で  
プルサーマルの導入を予  
定している。

しかし「プルニウム  
量が増すため出力がばら  
つき、燃料破損の可能性  
がある」(核燃料の専門  
家と批判する声もあり)、  
国内で導入実績をつくれ  
ないというのが実情。事  
前了解までこぎつけたの  
も九州電力玄海原発(佐  
賀県玄海町)など四原発  
の地元了解が白紙に戻  
った東電は「信頼回復の途  
上で、プルサーマルの導  
入時期などは言えない」  
(広報部) 状況だ。

プルサーマルの消費を  
迫る再処理工場の操業。  
「工場がある東北で、導  
入環境が整ってほしい」  
(日本原燃関係者)と、  
東北電力は業界の期待も  
背負う。しかしこれまで  
女川原発でトラブルが相  
次いだ経緯を踏まえられ  
ば、プルサーマルの道の  
りは簡単ではない。